

むつ市地域おこし協力隊活動状況報告書

むつ市長 宮下 宗一郎 殿

隊員氏名 小池 拓矢

次のとおり活動したことを報告します。

【活動報告月：2022年11月分】

1. 実施した活動の概要・状況

11月は、北海道の地域おこし協力隊との交流やアクティビティ体験のほか、むつ下北未来創生キャンパス祭への協力や地域おこし協力隊の情報誌の編集などを行った。

（主な活動）

◇11月4日（金）川内中学校講座

川内中学校の2年生に対して、地域おこし協力隊の活動紹介やこれまでの自らの生き方などを伝える講座を行った。普段体験館で行っている下北の自然などの講座とは異なり、準備をしながら自分のこれまでの活動を振り返るいい機会となった。これから様々な道に進んでいく子どもたちに、一つでも「引っかかる」話を伝えられていれば幸いである。



◇11月16日(土)、17日(日) 地域おこし協力隊 函館研修

北海道函館市および鹿部町の地域おこし協力隊との交流、カヌー等のアクティビティ体験を1泊2日の出張で行った。他の地域の協力隊の話聞く機会はあまりないので、協力隊として今後の活動を行っていくことや任期終了後の企業や就職への準備などに大いに役立つ交流となった。任期中に企画したイベントや事業を継続するためには、もちろん自らが地域に残り続けるのが最善だと思う一方、地域住民の関わり方や予算の獲得方法をデザインしておかないと、どんなに頑張った事業だとしても一過性のもので終わったり、形骸化したりしてしまうのだと認識できた。「地域おこし」とは何なのか、何をもち(少なくとも3年間の)ゴールとするのかを改めて考える必要がある。

カヌー体験についても、お客様へのホスピタリティの考え方について参考になることが多く、実りのある研修となった。



◇11月25日(金) シェルフオレスト川内情報誌『しえるメール』第2号の発行

今年の9月にシェルフオレスト川内へのインターンシップ生が発行した情報誌『しえるメール』を、地域おこし協力隊が引き継ぐ形で第2号を発行した。この情報誌は広報むつに挟んで、川内・脇野沢地域の各世帯に配付している。今号はむつ市海と森ふれあい体験館で行った秋のイベントや体験館で展示されている貝殻紹介のほか、川内・脇野沢地域でそれぞれの協力隊が取材した記事を掲載した。私は川内川渓谷遊歩道について3つの橋を中心に紹介した。今後も四半期に一度のペースで発行し、協力隊や体験館の情報を地域の方々にお知らせしていきたい。



2. 翌月の活動予定

- 12月 3日(土) 下北ジオパーク学習・活動発表会での協力隊活動の発表
- 17日(土) 『下北ワインとジャズの夕べ』開催
- 18日(日) 若者育成事業 冊子完成発表会